



消防環境ネットワークニュース

特定非営利活動法人 消防環境ネットワーク 第30号 2022年6月30日発行

おかげさまで30号

〒105-0003 東京都港区西新橋 2-18-2 NKKビル4階

TEL 03-5404-2180

URL <https://www.sknetwork.or.jp/>



1. 「第17回通常総会（2022年度）」を開催

5月25日（水）、第17回通常総会を開催。次のような議案審議を行い、すべて原案どおり承認されました。

- 第1号議案 2021年度事業報告書の件
- 第2号議案 2021年度活動計算書等の件
- 第3号議案 2022年度事業計画書（案）の件
- 第4号議案 2022年度活動予算書（案）の件
- 第5号議案 経営安定積立金の一部取り崩しの件
- 第6号議案 任期満了に伴う役員選任の件



木原前会長挨拶

また、通常総会終了後、石山前監事に感謝状が贈呈されました。ハロンバンク推進協議会設立準備の頃からご尽力されてきました。

現在の理事・監事と顧問は、次のとおりです。（2022年6月1日現在）

理事会長	金森 賢治	一般社団法人日本消火装置工業会
理事副会長	遠山 榮一	一般社団法人日本消火器工業会
理事	朝倉 健	三井住友建設株式会社
理事	安部 哲也	東日本旅客鉄道株式会社
理事	市橋 保彦	元消防庁次長
理事	上田 洋平	一般社団法人日本建設業連合会
理事	大谷 英雄	横浜国立大学名誉教授
理事	上関 克也	一般財団法人自治研修協会
理事	坂本 貴史	日本液炭株式会社
理事	進藤 健輔	セコム株式会社
理事	武井 一義	一般社団法人東京都設備設計事務所協会
理事	橋爪 毅	能美防災株式会社
理事	村上 研一	元東京消防庁総監
理事	山田 信夫	一般社団法人日本消火装置工業会
常務理事	柴田 弘幸	特定非営利活動法人消防環境ネットワーク
監事	岡村 武士	能美防災株式会社
監事	深田 史朗	深田工業株式会社
顧問	山越 芳男	元消防庁次長

木原前会長は2013年に副会長に就任し、2018年からは会長として団体を強力にけん引されてきました。紙面をお借りして、御礼申し上げます。

2. 「ハロン消火剤と予防行政に関する研修会 2022」開催のお知らせ

2014 年度に「改正 155 号通知に関する研修会」を行って以来、2019 年度まで東京・大阪・福岡や仙台等を会場に「ハロン消火剤と予防行政に関する研修会」を開催してまいりました。この研修会は「国家ハロンマネジメント戦略(※)」に基づきハロン消火剤の回収・リサイクルの推進を図る必要があることから開催し、毎回高評を得てきたところです。2020 年度は初のオンライン形式による開催とし、これも称賛の声を多くいただきました。

今年度は「ハロン消火剤と予防行政に関する研修会 2022」を、福岡・大阪と東京の3か所の会場で開催し、あわせてオンライン形式によっても実施します。

詳細は、9月下旬にご案内致します。

※ 我が国が推進するオゾン層保護のため、ハロンの適正管理や排出抑制等の基本方針を関係8省庁が検討を行い取りまとめ、UNEP(国連環境計画)オゾン事務局に提出したもの。(2000年7月)

開催日	会場
2022年12月2日(金)	【福岡会場】 ～定員50名～ 福岡県福岡市博多区博多駅前3-4-8 サットンホテル博多シティ 5階
2022年12月16日(金)	【大阪会場】 ～定員70名～ 大阪府大阪市中央区南船場4-3-2 ヒューリック心斎橋ビル 3階
2023年1月27日(金)	【東京会場】 ～定員100名～ 東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング 4階



大阪会場 (2021年12月3日)



東京会場 (2022年1月28日)

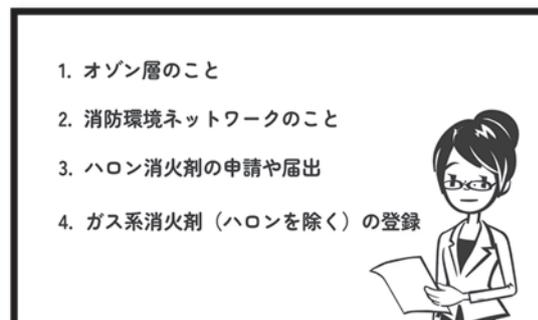
さて、前年度に開催した「ハロン消火剤と予防行政に関する研修会 2021」では、「感想部屋」という掲示板を設け、オンライン研修視聴後、感想などの投稿に利用していただきました。主な投稿内容は、以下のとおりです。

投 稿 内 容
<p>ハロン消火剤を用いた消火設備は、当消防本部管内では非常に設置例が少ないが、先入観等に捉われることなく、その特性を十分に把握し適正に設置指導を行っていききたい。</p> <p>予防行政に関しては、まさに現状抱える喫緊の課題であり、今後の予防行政の進め方について、指針となるものを示していただいているものと感じる。道のりは長いが確実に進めていきます。</p>
<p>この研修会を聴講し、消防環境ネットワークの日本・世界という広い規模での、未来を見据えた取り組みに深く感銘を受けました。微力ではありますが、消防設備等設置の際には、この研修会の内容を生かし柔軟な対応を行うと共に、SDGsの取り組みを広報していきたく思います。</p> <p>また、予防行政に関しても、今後の消防が推進すべき内容が示されており、強く背中を押していただけたと感じられました。</p>
<p>コロナ禍で様々な研修や会議等が中止になるなか、とても有意義な研修を自宅でゆっくりと視聴でき、感謝いたします。</p> <p>特に、ハロンの関係はなかなか得られない内容で参考になりました。</p> <p>また、最新の予防行政の動向も拝聴でき、大変勉強になりました。</p> <p>今後もこのような形で研修会を実施していただけたら有り難いです。是非また受講したいと思います。</p>
<p>世間や消防本部では、環境破壊という点ばかり注目され、設置しないように抑制されているように感じます。消防職員でも、未だにハロン消火剤を「悪いもの」と誤解しているくらいです。</p> <p>そのような中でこのような講習会を開催いただけることは助かりました。</p> <p>また、新消火剤の開発状況・動向を知るためにも、引き続き定期的な開催を希望します。</p>
<p>オンラインにて聴講する機会があることは地方消防にとっては非常に有難い機会となっております。このような場を設けていただき本当にありがとうございました。</p>

3. 動画「消防環境ネットワーク はやわかり」を公開中

消防環境ネットワークのホームページで、「消防環境ネットワーク はやわかり」を公開しています。約24分の動画です。

ハロン消火剤の申請や届出、ガス系消火剤（ハロンを除く）の登録等について、わかりやすく解説しています。是非、ご覧ください。



4. ハロン消火剤及びハロンを除くガス系消火剤の登録状況

2021年度（2021年4月～2022年3月）のハロン供給及び回収実績、ガス系消火剤（ハロンを除く）の登録状況は、次のとおりです。また、2022年3月31日現在、ハロン1301の登録件数は約44,400件、消火剤量は約16,600tです。

* ハロン供給及び回収実績

供給ガス	299件、142.0t	(2020年度 272件、184.8t)
回収ガス	670件、219.3t	(2020年度 556件、187.4t)

- ・ 「供給ガス」は、新たに設置する「設置ガス」と火災等による「補充ガス」の合計です。
- ・ 「回収ガス」は、ハロン2402・ハロン1211・ハロン1301の合計です。

* ガス系消火剤（ハロンを除く）の登録状況

二酸化炭素	189件、460.8t	(2020年度 181件、337.5t)
窒素・IG-55・IG-541	247件、212.3千m ³	(2020年度 199件、228.7千m ³)
HFC-23・HFC-227ea・FK-5-1-12	36件、18.4t	(2020年度 25件、22.9t)



SDGs Week EXPO 開催のご案内

脱炭素化で環境を守り強靱な社会インフラをつくる展示会を同時開催

エコプロ2022

社会インフラテック2022

同時開催：自然災害対策Biz/ウェザーテック、カーボンニュートラルBiz

2022年12月7日水～9日金

東京ビッグサイト[東ホール]



消防環境ネットワークは、「エコプロ2022」に出展します。

消防環境ネットワークは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。